

会社の概要 (2022年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)
 新宿グリーンタワービル20階
 創業 1914年4月5日
 設立 1941年12月11日
 資本金 140億7,496万5,448円
 従業員数 748名
 上場証券取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	781千株	7.66%
日本山村硝子取引先持株会社	645	6.32
株式会社三井住友銀行	425	4.16
ルディイスルケンブルグ エスエー カスタマー アセツ ファンス ユージツツ	395	3.87
山村幸治	305	2.99
日本山村硝子従業員持株会	303	2.97
日本生命保険相互会社	284	2.78
株式会社三菱UFJ銀行	229	2.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	227	2.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	206	2.02

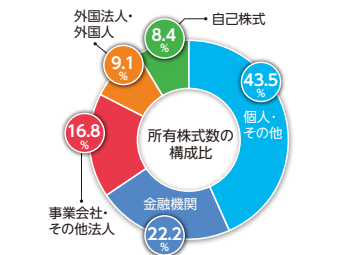
(注)1.当社は、2022年9月30日現在、自己株式932千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2.所有株式比率は自己株式を控除して計算しております。
 3.日本マスタートラスト信託銀行株式会社、株式会社日本カストディ銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。
 4.所有株式数は表示単位で切り捨て表示をしております。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	30,000千株
発行済株式の総数	11,145千株
株主数	7,937名
単元株式数	100株

所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	7,619名	4,854千株
金融機関	19	2,469
事業会社・その他法人	236	1,877
外国法人・外国人	62	1,010
自己株式	1	932
合計	7,937名	11,145千株



役員 (2022年9月30日現在)

- 取締役** (監査等委員である取締役を除く。)
 - 代表取締役社長執行役員 山村 幸治
 - 取締役常務執行役員 小林 史吉 (コーポレート本部および研究開発センター管掌)
 - 取締役常務執行役員 明神 裕 (ガラスびんカンパニー社長)
 - 取締役執行役員 山村 昇 (プラスチックカンパニー社長)
 - 取締役執行役員 田口 智之 (ニューガラスカンパニー社長)
- 監査等委員** である取締役
 - 取締役常勤監査等委員 水田 好彦
 - 取締役監査等委員(社外) 井上 善雄 (株式会社巴川製瓶所代表取締役社長(独立役員))
 - 取締役監査等委員(社外) 高坂 佳郁子 (弁護士(独立役員))
 - 取締役監査等委員(社外) 泉 豊禄 (ハクスイテック株式会社代表取締役社長(独立役員))
- 執行役員**
 - 執行役員 植田 光夫 (グループサステナビリティ責任者、環境室管掌)
 - 執行役員 井料田 保二 (コーポレート本部長)
 - 執行役員 木村 周二 (研究開発センター長)
 - 執行役員 副島 正義 (ガラスびんカンパニー営業本部長)

証券コード(5210)

Change and Challenge with You 株主のみなさまへ 決算ご報告

第94期 第2四半期

2022年4月1日 → 2022年9月30日

📍 日本山村硝子株式会社 <https://www.yamamura.co.jp/>

株主のみなさまへの決算ご報告について、環境負荷の低減・デジタル化の観点から、2023年3月期期末より、ご郵送でのご案内を廃止いたします。引き続き、株主のみなさまには会社ホームページにてご案内させていただく予定でございますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
同連絡先	東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL https://yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	東京証券取引所

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※) 	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/ ○株式事務に関する一般的なお問合せ
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選べない場合があります。

株主のみなさまへ

第2四半期決算ご報告送付のご案内と中間配当の見送りについて

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第94期第2四半期累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。
 なお、94期の中間配当につきましては、業績の状況を総合的に勘案し、実施を見送らせていただくことといたしました。このように、無配とさせていただきますことは、誠に遺憾でございますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

現在、抜本的な事業構造改革を推進し、収益力の向上と資産効率の改善に積極的に取り組んでおります。まずは落ち込んだ業績を早期に回復させ、株主のみなさまに利益を還元できるよう、経営陣一丸となって全力で対応してまいりたいと考えております。株主のみなさまには、引き続き当社グループへのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



敬具 代表取締役社長執行役員 山村幸治

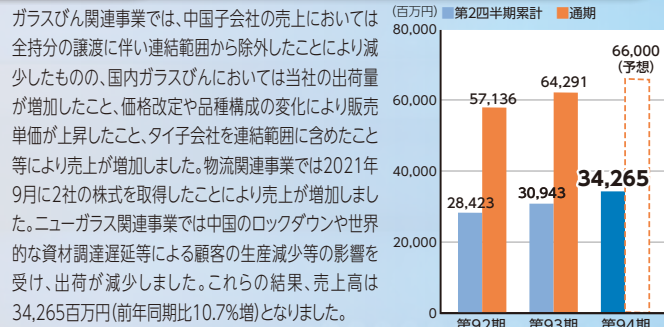
(ご注意)
 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



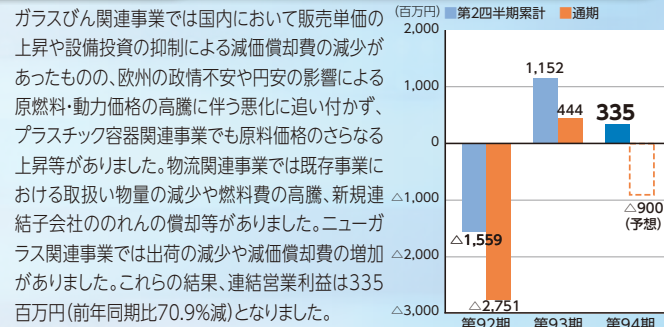
この決算ご報告はFSC®認証紙とベジタブルインクを使用して印刷しております。



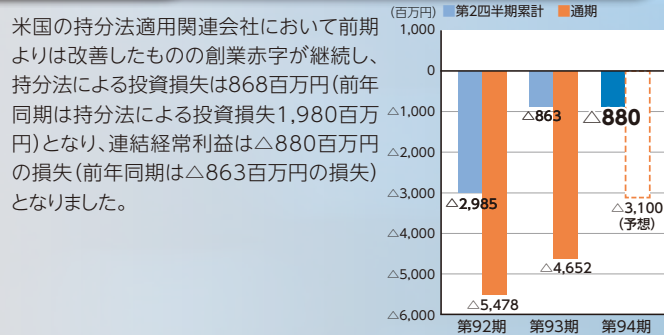
売上高 34,265百万円



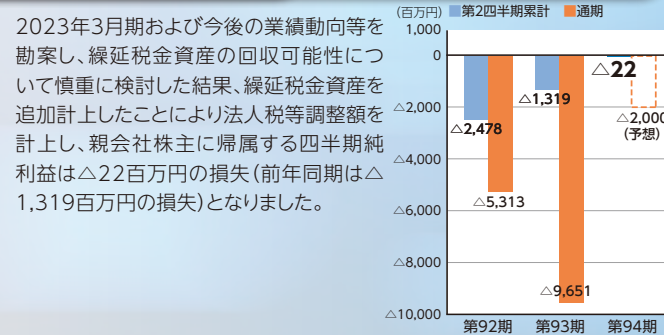
営業利益 335百万円



経常利益 △880百万円



親会社株主に帰属する四半期純利益 △22百万円

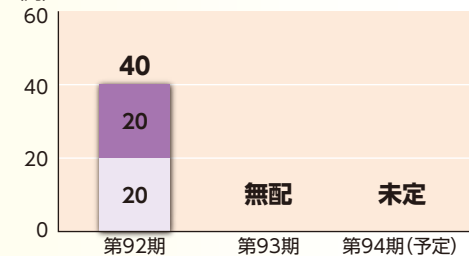


利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

しかしながら、業績の状況を総合的に勘案し、中間配当金につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただき所存です。期末配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

1株当たり配当額の推移



「ぴったりトロミがつくカップ」を開発

当社と国立病院機構大阪医療センターは共同で、えんげ(飲み込み)が困難な患者さんの誤嚥(ごえん)を防ぐための必要な道具が一体化したカップ『ぴったりトロミがつくカップ』を開発しました。本製品は日常的に実施される水分のトロミづけ作業を、簡便に行うことが出来ます。

本製品の開発は、大阪商工会議所が主催する「次世代医療システム産業化フォーラム」によるマッチングと事業化支援にて実現しました。

当社は、医療・介護へのさらなる貢献を目指してまいります。



エネルギー勉強会を開催

当社は兵庫県西宮市と共催で、エネルギー勉強会『ガラスびんはSDGsの夢を見るか?』を当社の関西本社で開催し、西宮市在住の親子33名に参加いただきました。

勉強会では、ガラスびんの環境特性や、個人ができるSDGsのための取り組みなどについての講義を実施しました。

また、参加者の方へリターナブルボトルの飲み物を提供し、飲み終わった空きびんとお菓子を交換するリユース体験を行いました。ガラスびんを使った工作や、普段は公開していないガラスびんの展示室「クリエイティブデザインルーム」の見学ツアーも大好評でした。

当社は、引き続きガラスびんの魅力を知ってもらうための活動を積極的に推進してまいります。

プラスチックカップの水平リサイクルに向けた取り組みについて

当社と株式会社プライムポリマーはプラスチックカップの水平リサイクルの実現に向け共同で取り組みをはじめます。

飲料・食品向けのプラスチック容器・包装の水平リサイクルには、これまで様々な課題があり、容易に進んでいませんでした。今般、当社および株式会社プライムポリマーは両社のシナジーにより、共同でその課題解決に取り組み、使用済みカップを新しいカップへ再生する高品位なマテリアルリサイクルを推進してまいります。

